授業科目　高次脳機能評価学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	作業
能登　真一	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：ＧＩＯ】
注意や記憶、言語、行為といった人間のさまざまな高次脳機能について、その定義と役割を概観するとともに、脳科学との結びつきを把握しながらその原理を理解する。

【行動目標：ＳＢＯ】
1. 人間の高次脳機能のいくつかを述べることができる。
2. 人間の種々の高次脳機能について、その定義を説明することができる。
3. 人間の種々の高次脳機能について、日常生活における役割を述べることができる。
4. 各高次脳機能と脳の神経ネットワークとの関係を検討することができる。
5. 個々の高次脳機能が障害されたときの症状と日常生活への影響に気づくことができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	イントロダクション、脳の構造と機能局在	1	講義
2	意識と注意	1～5	講義
3	記憶	1～5	講義
4	言語	1～5	講義
5	知覚性対象認知	1～5	講義
6	行為、行動	1～5	講義
7	感情、思考	1～5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書				
参考書	認知科学への招待	大津由紀雄・他編	研究社	2004年・3150円
	高次脳機能障害学	石合純夫	医歯薬出版	2003年・4200円
その他の資料				

【評価方法】
小テスト・・・・・20%
期末試験・・・・・80%

【履修上の留意点】